

The 2 Chome Times 平成26年3月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO190.

2014.3.25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイム3月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

http://www.centergai2.com E-mail:centergai2@nifty.com

★ストリートミュージアム收藏式典

今回で9作目となります陶芸家の市野雅彦先生の作品、「KIZUNA」の收藏式典が4月5日(土)にセンター街2丁目午前11時から執り行われます。市野先生は丹波が生み出した焼き物の偉才と呼ばれており、日本を代表する陶芸作家のお一人です。その作品はオリジナリティに溢れ、作風の変化が展覧会などで常に話題となっているそうです。1995年に第13回日本陶芸展で貝を思わせる器「開」が当時最年少でのグランプリを受賞して以来、日本だけで



なく世界中の展覧会で多くの陶芸愛好家から高く評価されています。赤と黒の対比が美しいこの作品がこれから話題を集め、センター街を通行される方々にも強い印象を与えていくのではないのでしょうか。もちろん来年以降も新しい作品が順次埋め込まれていく予定で、最終的には20作品まで増やし、これらのコレクションがアートストリートとして私達の街の誇りとなるでしょう。2丁目が推し進める「アートな風が吹く街」がどんどん充実した形で実現していきます。今後も御期待下さい。



★時計のミヤコ シチズンSHOP神戸三宮店オープン!

センター街2丁目のドンクさんに程近い場所に「シチズンショップ神戸三宮」がオープンしました。



店長の勝間さんからメッセージをお預かりしていますので、ご紹介いたします。

「シチズンウォッチの商品を取り扱っている路面店の中では日本最大級の品揃えを誇るお店になっています。その他にもブランドウォッチや舶来ウォッチなど数多くの多彩な品揃えとなっており、メンテナンスも受け付けております。是非一度お立ち寄り下さい。スタッフ



一同心よりお待ちしております」とのことです。店内を拝見いたしましたが、本当に清潔で美しい時計が数多く並べられていました。この時期は入学祝いや社会人デビュー祝いなどで多くの方が時計をお祝いにと考えていらっしゃるのではないのでしょうか。この素敵な腕時計が沢山用意されているシチズンショップを覗いて見ることなしに、プレゼント探しは始まりません!是非、一度足をお運びください!

営業時間：11:00~20:00

不定休

TEL 078-321-3788

店長：勝間利光さん

★ SANNOMIYA COLLECTION 2014 SPRING & SUMMER

今年の春もファッションは神戸三宮からというわけで、3月22日(土)に神戸三宮の春夏スタイルファッションショーがセンター街で開かれました。“KOBE”



この街の中心地、三宮。神戸を支え続け、共に成長し、そして流行最先端を行く街 サンノミヤ コレクションはそんな三宮の街のファッションを軸として、あらゆるジャンルのBEST SANNOMIYA STYLEを提案し神戸の今を発信する恒例のイベントです。



13時からは1stステージとしてウェディングクイーンが紹介された後にプロモデルショーが、14時からの2ndステージと17時からの4thステージではキッズショーが行われた後にプロモデルショーが、16時からの3rdステージでは三宮ビブレによるオリジナルモデルショーがそれぞれ華やかに行われました。気分も軽くなる春が目の前です。皆様も新しい春服を着て、心ウキウキで街を歩いてみませんか！

★ヴィッセル神戸応援してきました

3月8日のJリーグ、ヴィッセル神戸対柏レイソルの試合をノエビアスタジアム神戸で観戦してきました。



昨年の奮闘により、今年はJ1に帰ってきたヴィッセルの第2節となるホーム初戦となる試合です。始球式には久元神戸市長が臨まれ、可愛い？キックを披露されておられました。千葉の柏市を本拠にする柏レイソルは去年、10位ながらヤマザキナビスコカップで14年ぶり2度目の載冠で3年連続のタイトル獲得を果たした強豪チームです。前半終了間際のアディショナルタイムにセットプレーから失点してしまい、嫌なムードが漂っていましたが、新戦力のブラジル

人ペドロジュニオールが後半17分に同点ゴールを決め、2試合連続の勝ち点1を挙げました。2丁目ではご存じのように組合員の皆様のためにシーズンチケットを用意していますので、当選された方は思う存分に、現場でのエキサイティングな臨場感を味わってください。



★神戸ゆかりの美術館に行ってきました

3月21日から6月29日まで六甲アイランドにある神戸ゆかりの美術館で KOBE ARTISTS MUSEUM



Collection “洋画・日本画・版画・彫刻 55人の美術家達” が開催されています。この神戸ゆかりの美術館はその名の通り、地元ゆかりの芸術作品を年間4回の企画展示を通じて紹介することを主な活動としている美術館です。收藏されている作品は1000点余りで作家数は55名を数えるそうで、いずれも神戸を拠点に活躍した、あるいは今も活動を続ける作家達だそうです。今回は当該の美術館が收藏する55人の全作家の作品が一堂に公開されています。風景画・人物画・抽象画・版画・彫

刻など、どれも興味深い作品ばかりでした。センター街2丁目の東西の入口上に大きなステンドグラスの川西英先生の作品が飾られていますが、もちろん先生と息子さんの川西祐三郎さんの作品も併せて9点展示されています。当然のことながら神戸の風景画も数多く展示されていて、その当時存在し現在では無くなっている建造物も描かれており、時代の流れを感じたりしました。中でも河本和子先生の100号の大作「少女の居た街」はあの阪神淡路大震災の時の心の中の街を人を描き、あらためてこの街に生きる私達に多くの問いかけを続けています。



神戸ゆかりの美術館 KOBE ARTISTS MUSEUM Tel 078-858-1520

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1 <http://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

★編集後記

早いもので東日本大震災から3年が経ちました。同じ被災者として東北の被災者のお気持ちと頑張りが一番共感できるのは私達ではないでしょうか。来年で阪神淡路大震災から20年を迎えることになり、大きな節目を迎えますが、これからも同じ思いを共有する者として、東日本大震災の被災者に寄り添い、まだまだ道半ばの復興のお手伝いの一助になればと考えています。それと共に、いつやって来るか分からない南海沖地震への準備と心構えを忘れないようにしたいものです。

